

トヨタ純正

カメラ一体型ドライブレコーダー

086A3-55010

！ 注意

ルーフヘッドライニングおよび車両ブラケット等のエッジ部付近で配線作業をする際は、ケガをするおそれがあるため、ケブラ手袋を着用してください。

注 意

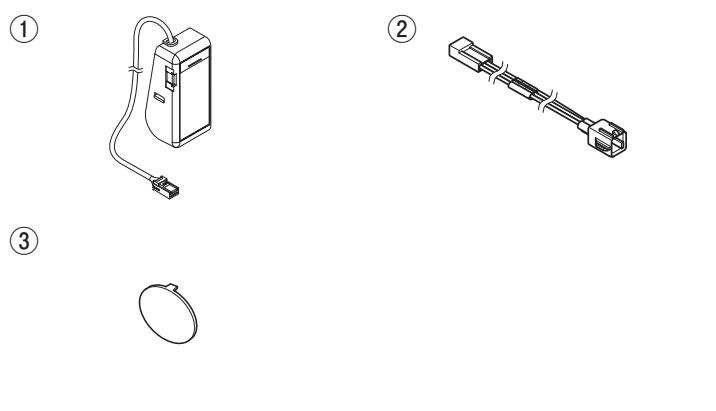
- ・取り付け作業は、ルーフヘッドライニングに無理な力を加えないで行ってください。
- ・ルーフヘッドライニングが折り曲がらないように注意してください。
- ・道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第195条第5項第二号による、道路及び交通状況に関する情報の入手のためのカメラに指定されている要件を満足しております。
- ・動作確認用の microSD カード (4GB、8GB の内いずれか) を準備してください。
同梱の microSD カードを使用しての動作確認はしないでください。
同梱の microSD カードを使用すると、車両引き渡し前までに撮影された映像が残ります。

構成部品

No.	品 名	個数
①	一体型ドライブレコーダー	1
②	電源側中継コード	1
③	目かくしカバー	1
④	コードガイド	1
⑤	microSD カード	1
⑥	SD カードアダプター	1
⑦	バンドクランプ	13
⑧	ハーネス固定テープ	2
⑨	保護シート	2
⑩	クリーナー	1

補給部品

086A4-55010



No.	品 名	個数
①	一体型ドライブレコーダー	1
②	電源側中継コード	1
③	目かくしカバー	1

補給部品

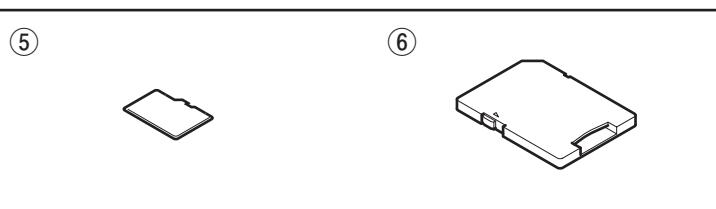
086A4-00280



No.	品 名	個数
③	目かくしカバー	1

補給部品

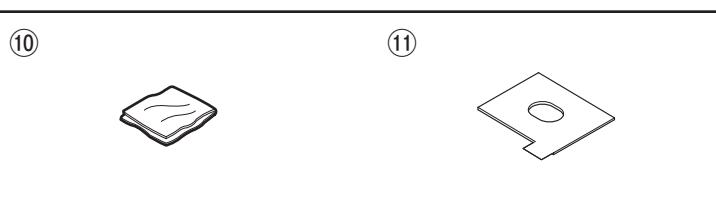
086A4-00190



No.	品 名	個数
⑤	microSD カード	1
⑥	SD カードアダプター	1

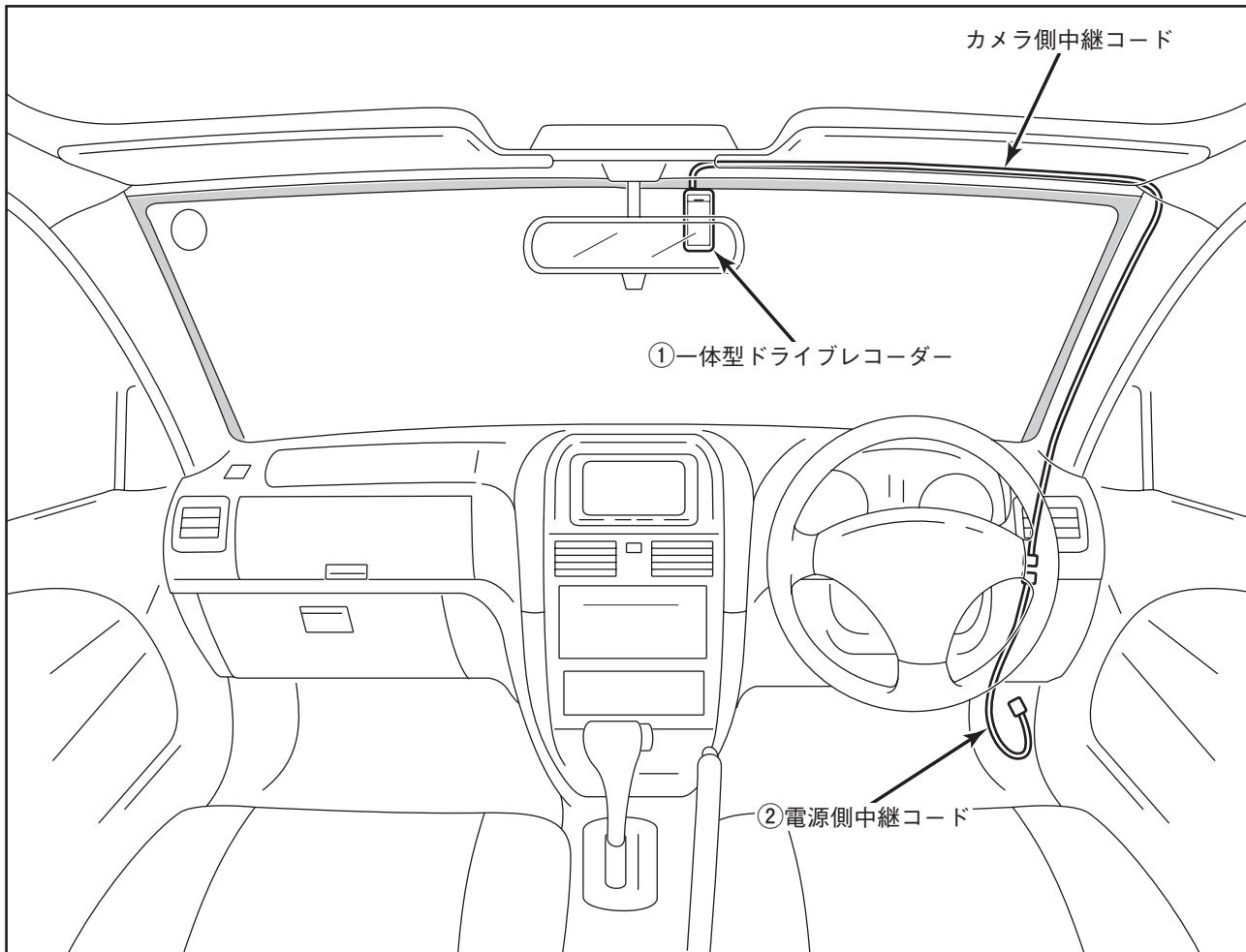
補給部品

086A4-00180



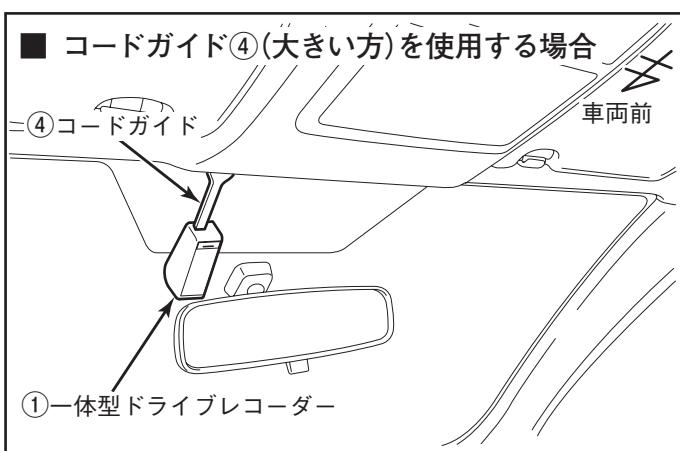
No.	品 名	個数
⑩	クリーナー	1
⑪	両面テープ	1

配線概要図

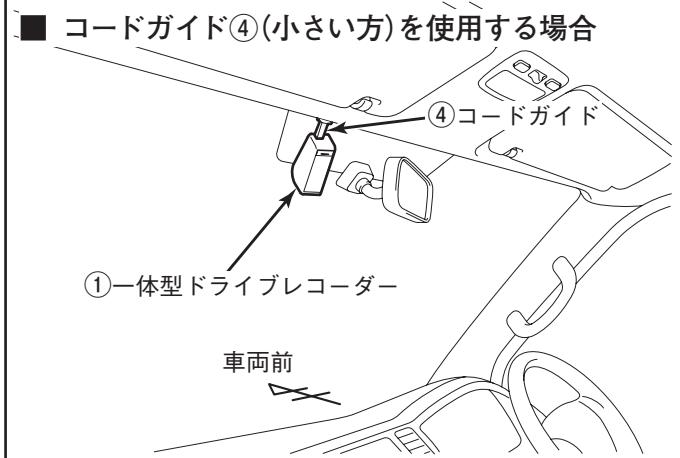


カメラ取付要領

■ コードガイド④(大きい方)を使用する場合



■ コードガイド④(小さい方)を使用する場合



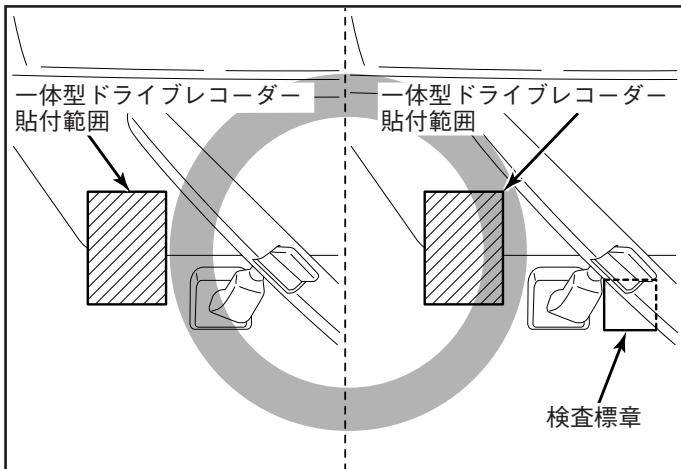
■ 取付位置概要(例)

注意

各作業の際、カメラレンズ部に工具等を当てるたり、保護シートがない場所に一体型ドライブレコーダー①を置いたりしないでください。
カメラレンズ部等にキズがつくことがあります。

アドバイス

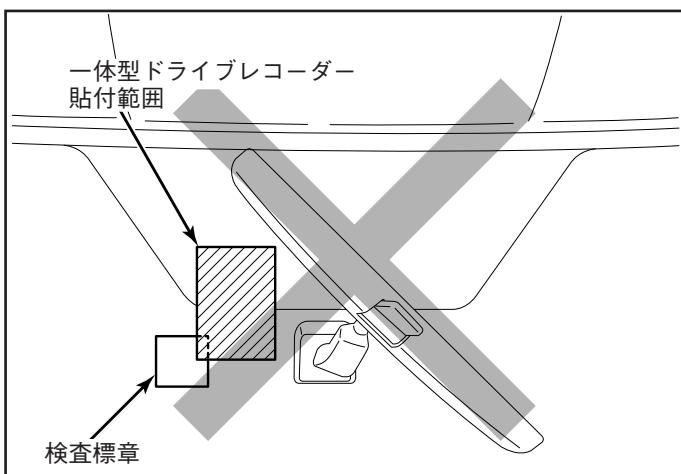
取付位置は、車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。



- ・一体型ドライブレコーダー①の取り付け条件について

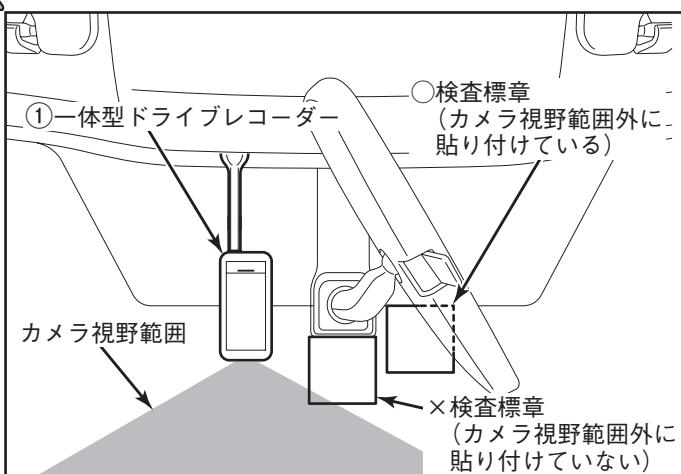
注意

- ・一体型ドライブレコーダー①は、検査標章(車検証シール)を貼り付けていない場合、または検査標章が一体型ドライブレコーダー貼付範囲外に貼り付けてある場合に取り付けることができます。
- ・新車時などに一体型ドライブレコーダー①を貼り付ける場合、検査標章(車検証シール)を一体型ドライブレコーダー貼付範囲外へ貼り付けてください。



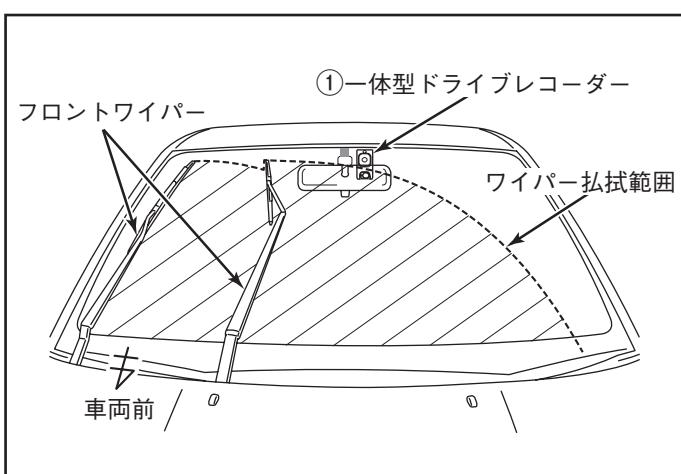
注意

検査標章(車検証シール)が一体型ドライブレコーダー貼付範囲に貼り付けてある場合、一体型ドライブレコーダー①を貼り付けることができません。



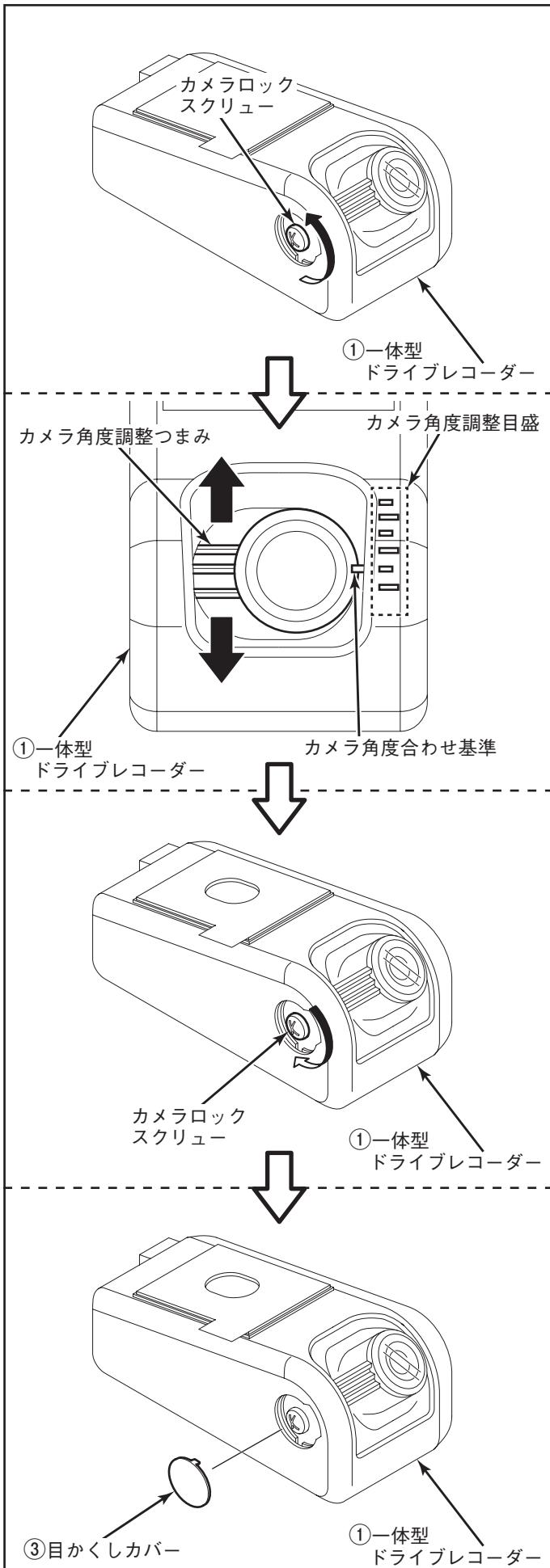
注意

検査標章を貼り付ける際は、カメラ視野範囲外に貼り付けてください。カメラ視野範囲内に検査標章を貼り付けるとmicroSDカード⑤に記録される映像に検査標章が映り込みます。



注意

一体型ドライブレコーダー①の撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると雨天時など鮮明な映像が記録されない恐れがあります。

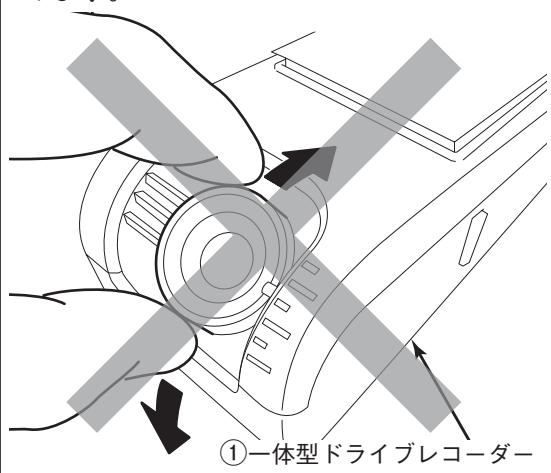


・一体型ドライブレコーダー①貼り付け前の準備

- (1) カメラロックスクリューをゆるめる。
- (2) カメラ角度調整用つまみを使用して、一体型ドライブレコーダー①の角度調整目盛りとカメラ角度合わせ基準を合わせる。

注意

カメラ角度を調整する際、カメラレンズ部に触らないようにしてください。カメラレンズ部に汚れやキズがつく恐れがあります。



- (3) カメラロックスクリューを確実に締め付ける。

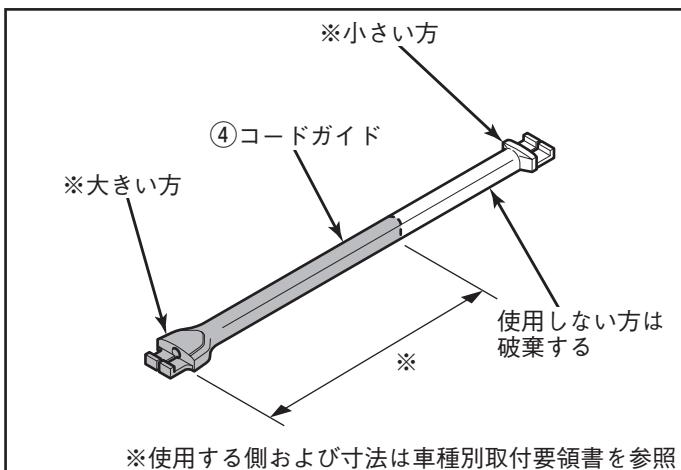
注意

- ・カメラロックスクリューを締め付けた後、カメラ角度調整目盛りとカメラ角度合わせ基準がずれていないことを確認してください。
- ・カメラ画像に必要な情報が記録されない恐れがある為、「車種別取付要領書」で指定されている角度調整目盛りに確実に調整してください。

→ アドバイス

角度調整目盛り位置は車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。

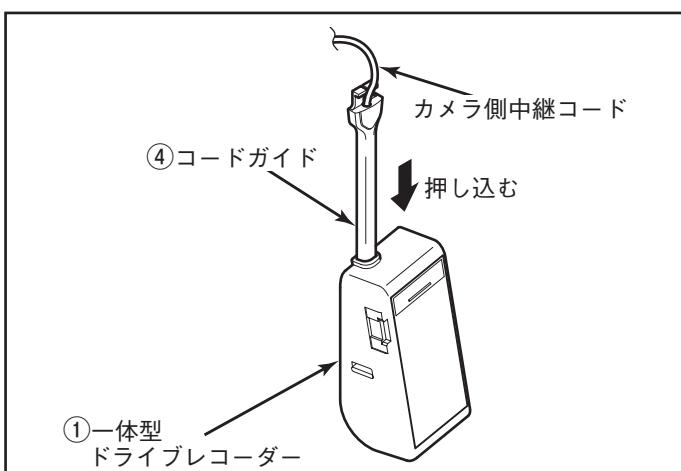
- (4) 目かくしカバー③を一体型ドライブレコーダー①に取り付ける。



(5) コードガイド④を寸法通り切り取る。

アドバイス

- ・コードガイド④の使用する側および切取寸法は、車種により異なりますので「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・コードガイド④は、はさみ等で寸法通り切って使用してください。

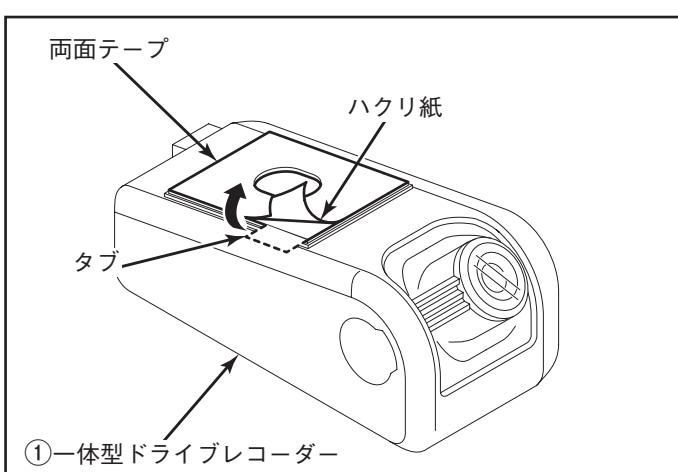
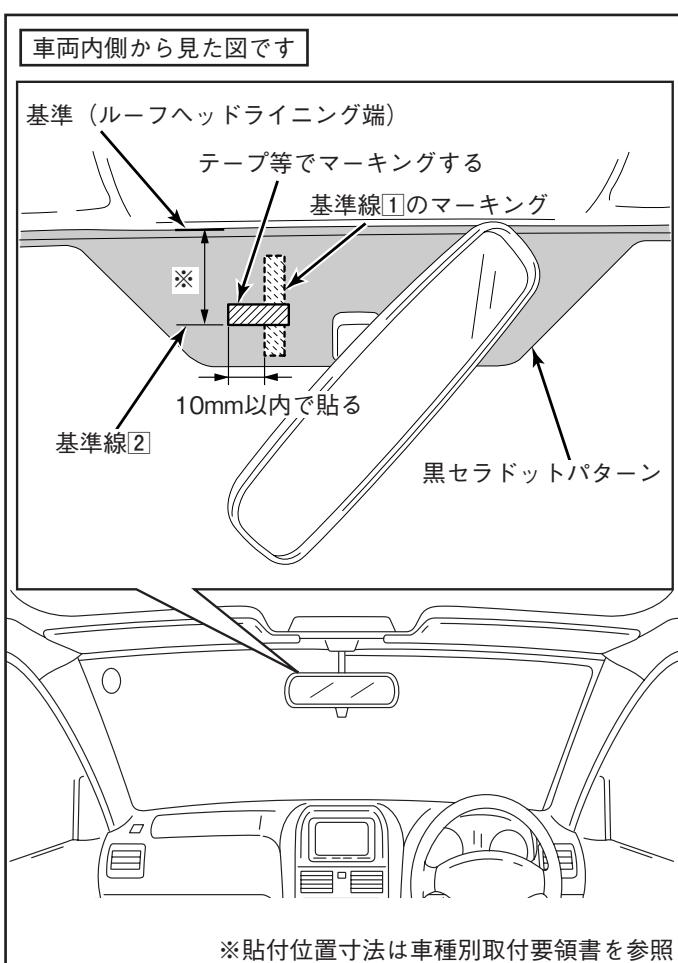
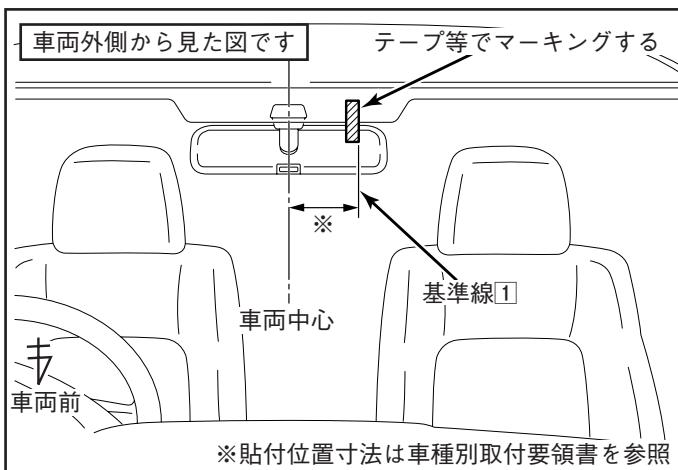


(6) コードガイド④にカメラ側中継コードを通す。

(7) コードガイド④を一体型ドライブレコーダー①に押し込む。

注意

コードガイド④は、本体の溝奥に突き当たるまで押し込んでください。



- ・一体型ドライブレコーダー①貼付および配線要領

(1) 車両外側からテープ等で一体型ドライブレコーダー①の貼付用基準線①をマーキングする。

☞ アドバイス —

- ・図は、車両外側から見た図を示しています。
- ・貼付位置寸法については「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・テープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線①になるようにしてください。
- ・貼付用基準線①のマーキングを貼付けたときは、地面に対して垂直に貼れていることを車両外側から確認してください。

(2) 車両内側からテープ等で一体型ドライブレコーダー①の貼付用基準線②をマーキングする。

注意

基準線①のマーキングより10mm以内に基準線②のマーキングをしてください。10mm以上マーキングを行うと一体型ドライブレコーダー①貼付後、基準線②のマーキングが外せなくなる恐れがあります。

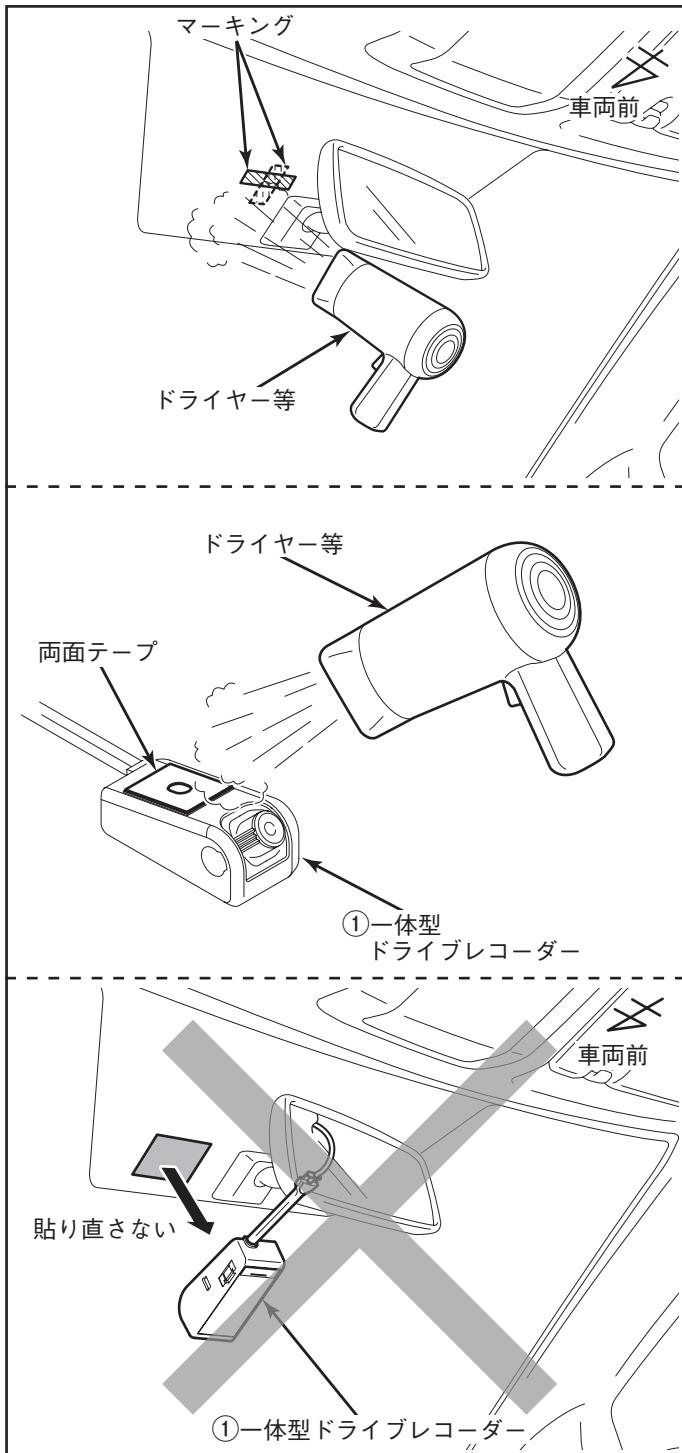
☞ アドバイス —

- ・図は、車両内側から見た図を示しています。
- ・貼付位置寸法については「車種別取付要領書」を参照してください。
- ・テープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線②になるようにしてください。

(3) タブを利用して一体型ドライブレコーダー①の両面テープからハクリ紙をはがす。

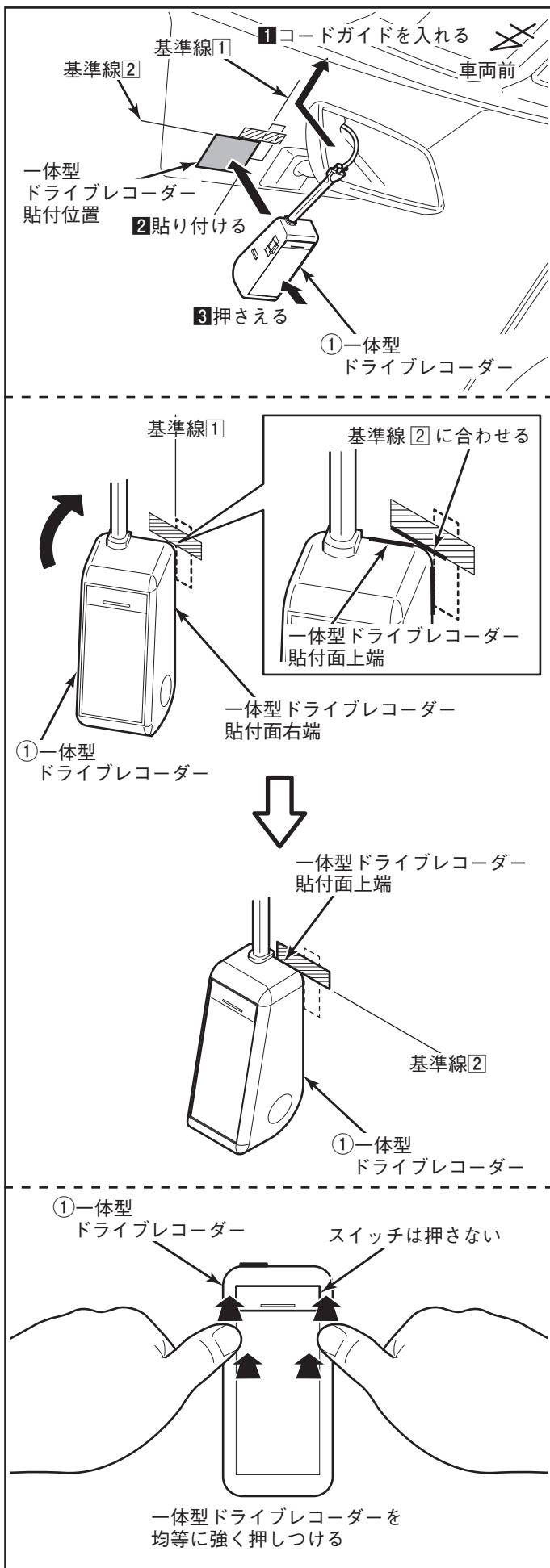
注意

粘着力が弱まり、一体型ドライブレコーダー①が落下する恐れがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。



注意

- ・作業環境(温度・湿気)に注意してください。
- ・温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と一体型ドライブレコーダー①の両面テープ部を暖めてから貼り付け作業を行ってください。
- ・温度について
貼付作業時の環境温度は、15°C以上が推奨です。気温が低い時期(気温15°C未満の作業環境など)は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- ・湿気について
貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- ・一体型ドライブレコーダー①を暖めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを暖める際は、数秒だけドライヤー等で暖めてください。
- ・粘着力が弱まり、落下する恐れがありますので、一体型ドライブレコーダー①を貼り直したりしないでください。
- ・貼り付け後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。
- ・貼り直す場合、補給部品の両面テープ⑪(086A4-00180)を使用してください。



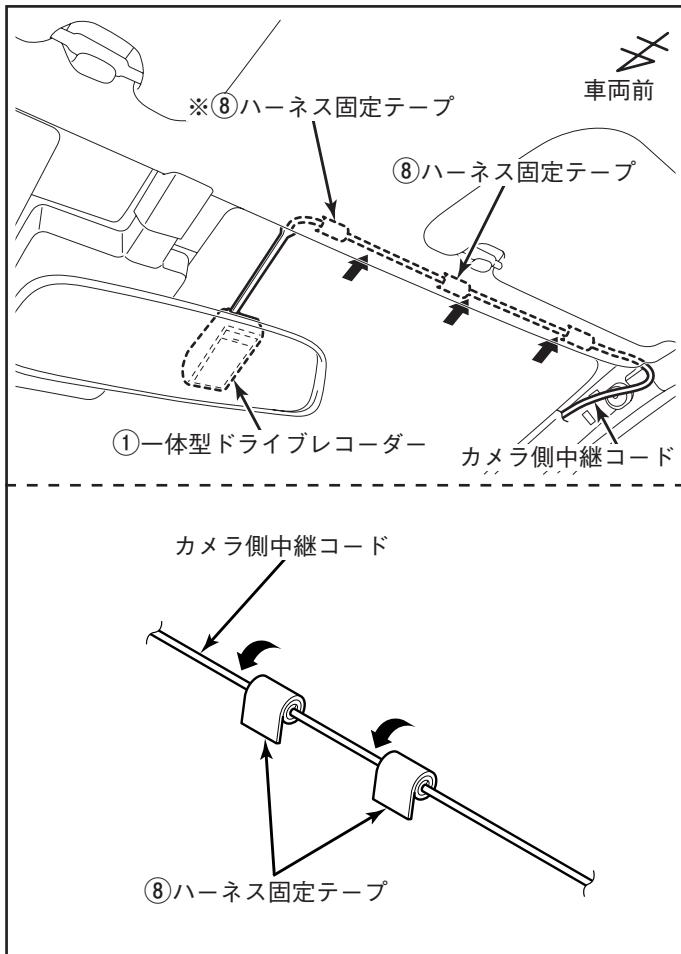
- (4) 基準線①に一体型ドライブレコーダー①の右端を合わせ、同時に基準線②に一体型ドライブレコーダー①の上端を合わせてフロントガラスに貼り付ける。

注意

- ・一体型ドライブレコーダー貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤー等で乾燥させてください。
- ・貼り付け時、フロントガラスと両面テープの間の空気(気泡)を抜くよう、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- ・両面テープをしっかりと定着させる為、十分に一体型ドライブレコーダー①をフロントガラスに押しつけてください。
- ・押し付ける際、スイッチ部を押さずに貼付面の四隅を押し付けるようにしてください。
- ・一体型ドライブレコーダー①貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。

アドバイス

- ・貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ・一体型ドライブレコーダー①貼付後、貼付基準用のマーキングをはがしてください。



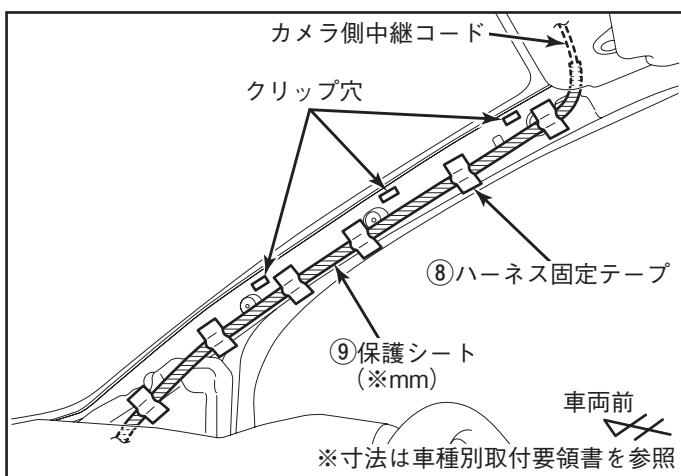
- (5) ルーフヘッドライニングの端の部分を少し下げ、カメラ側中継コードをルーフヘッドライニング内に収め配線する。

注意

- ・ルーフヘッドライニングが下げる場合は、リムーバー等を使用すると作業が容易に行えます。
- ・カメラ側中継コードがルーフヘッドライニングからはみ出す場合は、カメラコードにハーネス固定テープ⑧を巻きつけてルーフヘッドライニング内に収めてください。
(カメラ側中継コードがはみ出さない場合は、必要ありません。)
- ・※印付近のカメラ側中継コードにはハーネス固定テープ⑧を必ず巻き付けてください。

アドバイス

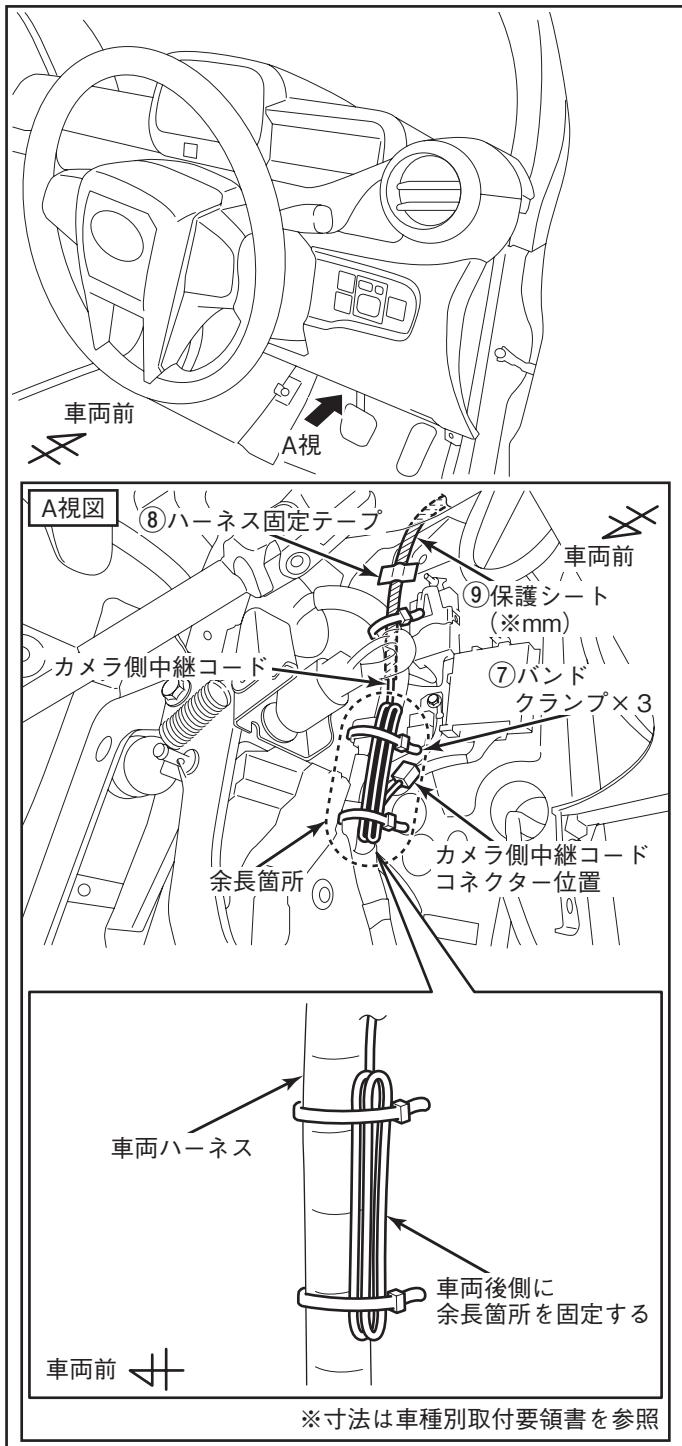
ハーネス固定テープ⑧は、はさみ等で切って使用してください。
以降の作業も同様に行ってください。



- (6) カメラ側中継コードをハーネス固定テープ⑧で固定しながら配線する。

アドバイス

- ・カメラ側中継コードの配線については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領書」を必ず参照してください。
- ・保護シート⑨は、はさみ等で寸法通り切って使用してください。
以降の作業も同様に行ってください。
- ・保護シート⑨の寸法については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領書」を必ず参照してください。



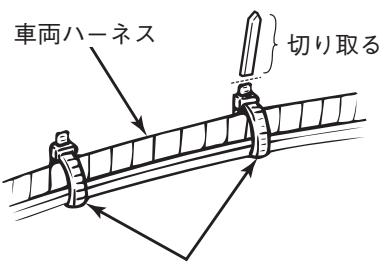
- (7) カメラ側中継コードをバンドクランプ⑦およびハーネス固定テープ⑧で固定しながらカウルサイド(R)上側まで配線する。

注 意

- ・余長分となったカメラ側中継コードは、かみ込まないように束ねてバンドクランプ⑦を使用して固定してください。
- ・余長分のカメラ側中継コードは、車両ハーネスより車両後側で固定してください。
その他の箇所で固定すると車両部品と干渉する恐れがあります。

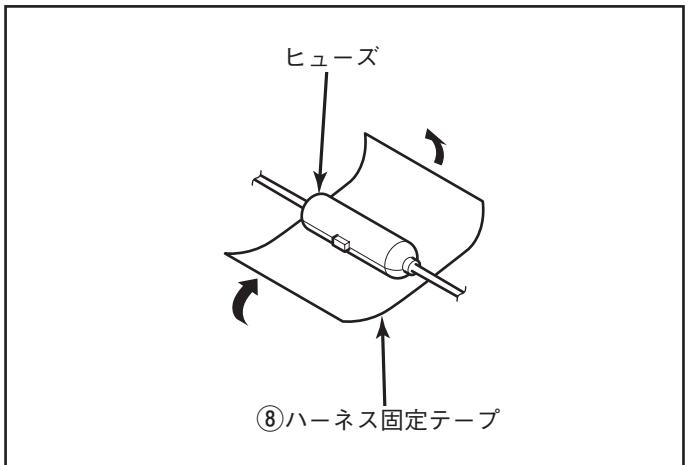
アドバイス

- ・バンドクランプ⑦の余長部分は切り取ってください。
以降の作業も同様に行ってください。



車両ハーネス等に
バンドクランプ⑦で固定します

- ・保護シート⑨の寸法については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領書」を必ず参照してください。

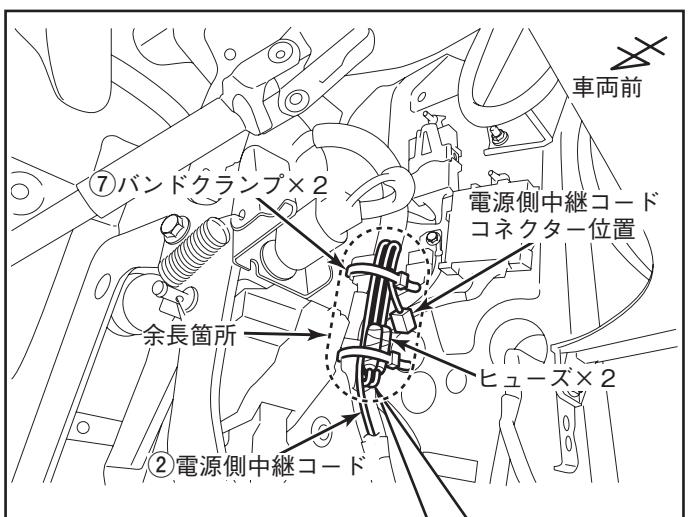


・電源側中継コード②の配線

- 電源側中継コード②のヒューズにハーネス固定テープ⑧を巻きつける。

☞アドバイス――

異音防止の為、必ず電源側中継コード②のヒューズにハーネス固定テープ⑧を巻きつけてください。

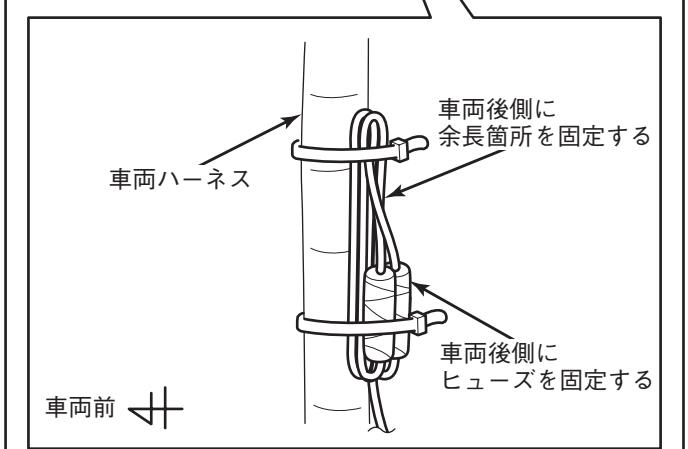


- カメラ側中継コードと電源側中継コード②を接続する。

- 電源側中継コード②をバンドクランプ⑦で固定しながら配線する。

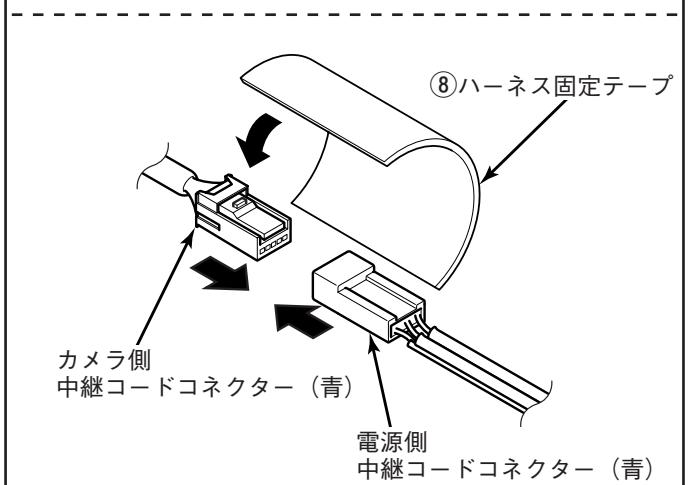
注意

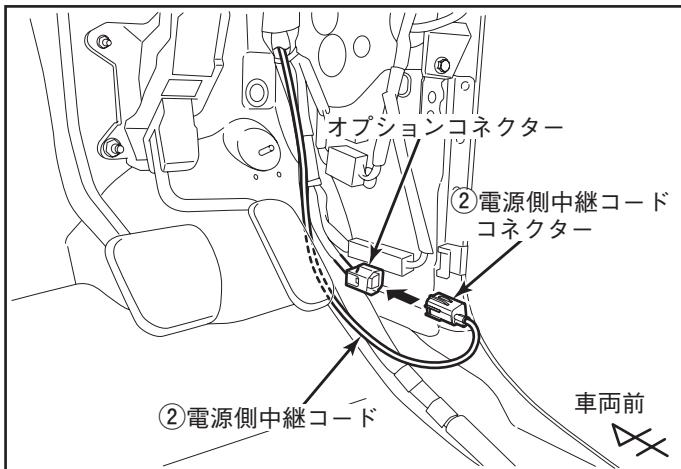
- 余長分となった電源側中継コード②は、かみ込まないように束ねてバンドクランプ⑦を使用して固定してください。
- 余長分の電源側中継コード②およびヒューズは、車両ハーネスより車両後側で固定してください。
その他の箇所で固定すると車両部品と干渉する恐れがあります。



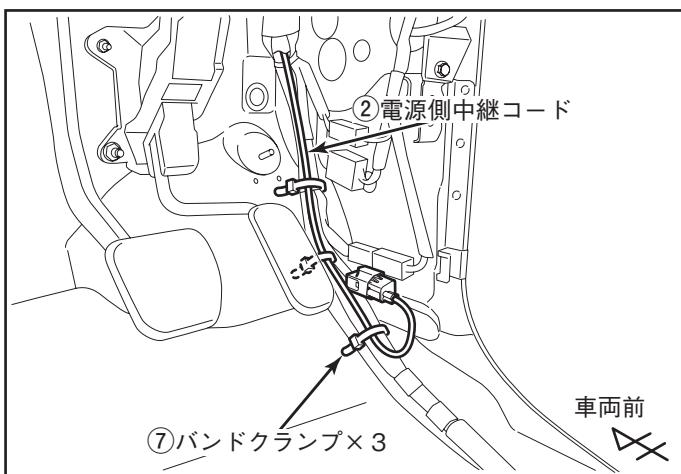
☞アドバイス――

異音防止の為、必ずハーネス固定テープ⑧でカメラ側中継コードコネクターと電源側中継コードコネクターを固定してください。



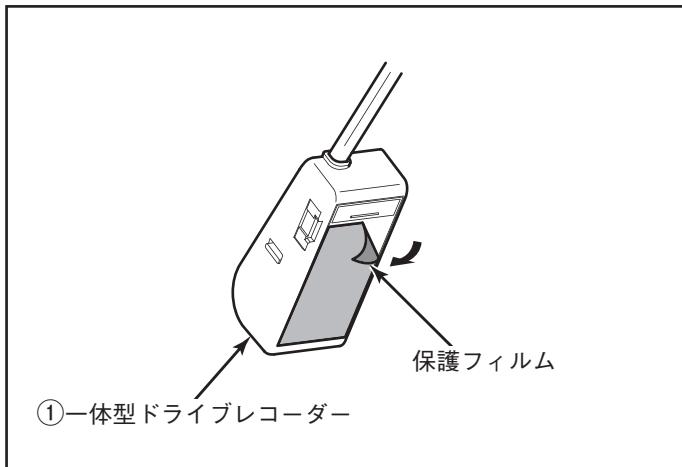


- (4) 電源側中継コード②をオプションコネクターに接続する。



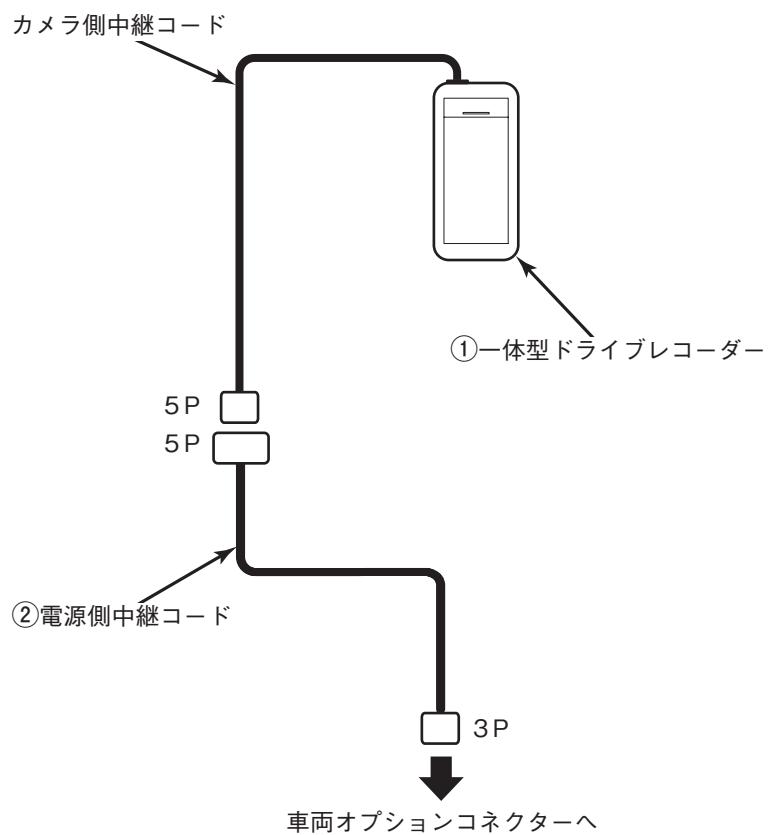
- (5) 電源側中継コード②をバンドクランプ⑦で固定しながら配線する。

取付後の注意事項



- (1) 一体型ドライブレコーダー①から保護フィルムを取り外す。

結線方法



取付後の作動確認方法について

・準備事項

① microSD カード（SD カードアダプター）、カードリーダー、パソコンを準備してください。

・パソコンは、Windows 8.1、Windows 10 が使用可能です。

・必ず、動作確認用の microSD カードを事前に準備してください。同梱（お客様用）の microSD カードを使用すると、車両引き渡し前までの映像が microSD カードに残ってしまう場合があります。

・microSD カードは、4GB、8GB が使用可能です。

・同梱の microSD カードは、車両引き渡し時に、お客様へ取扱書と一緒に渡してください。

microSD カードを挿入するまでは、「ピー、ピー、ピー」と作動音が鳴り続けます。

・ビューアーソフト（DR_VIEWER_SETUP.EXE）、SD カードフォーマットソフトウェアを下記 URL からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

<http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/driv/>

（必ず専用のビューアーソフトを使用して作動確認を実施してください。）

・必ず、専用のフォーマットソフトウェアを使用して microSD カードのフォーマットを実施してください。

・microSD カードのフォーマット方法

1. SD カードフォーマットソフトウェアを準備します。

2. SD カードフォーマットソフトウェアを起動します。

3. 「フォーマット」ボタンをクリックします。

・「Drive:」欄が、microSD カードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットを行ってください。異なるドライブが選択されている場合、「更新」ボタンをクリックし、microSD カードを挿入したドライブを選択してください。



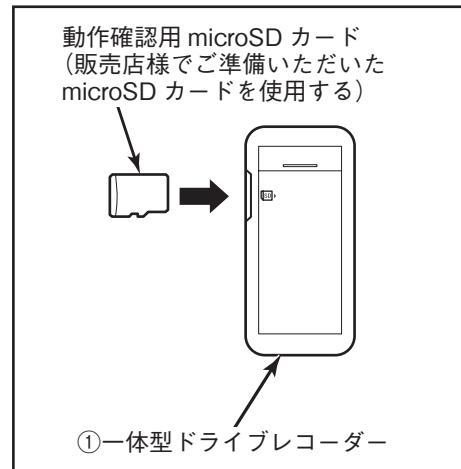
4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

5. 「終了」ボタンをクリックします。

・作動確認

② フォーマット済みの microSD カードをドライブレコーダー本体に「カチッ」と音がするまで挿入し、車のエンジンをかけてください。

- ・同梱の microSD カードは使用しないでください。
- ・インジケーター (LED) が点滅してからしばらくすると、作動音が「ピッ」と鳴りインジケーターが点灯します。
(microSD カードの仕様によっては「ピッ」と鳴るまでに時間がかかる場合があります)
- ・インジケーターが点灯してから 10 秒以上経過しても、自己診断エラー (本編 46 ページ参照) が出ていないことを確認する。
- ・記録モードを起動した時刻 (作動音が「ピッ」と鳴った時刻) をメモしておいてください。
(後述の記録データの確認の中で必要になります。)



③ 自己診断エラーが出ていないことを確認したら車のエンジンを切り一体型ドライブレコーダーから microSD カードを抜いてください。

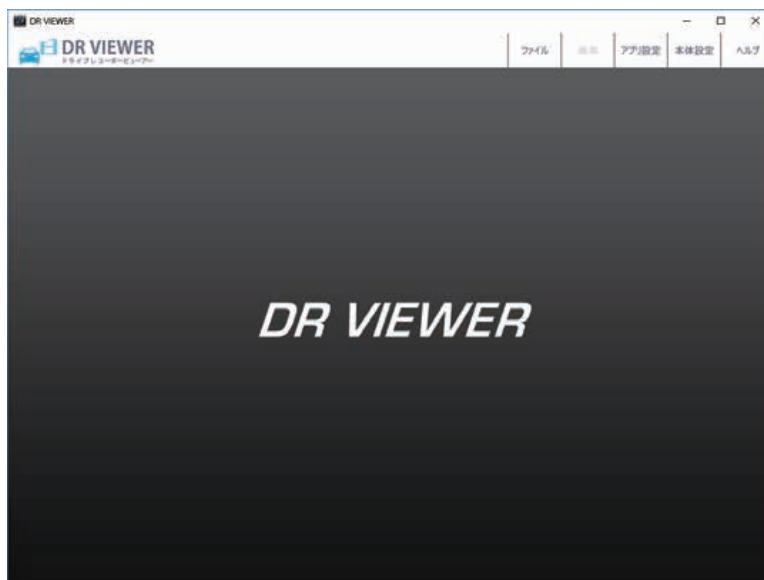
・パソコンによる確認

④ microSD カードに記録されたデータを、パソコンでビューアーソフトを起動して確認してください。
以下の手順でビューアーソフトを起動し、映像を再生します。

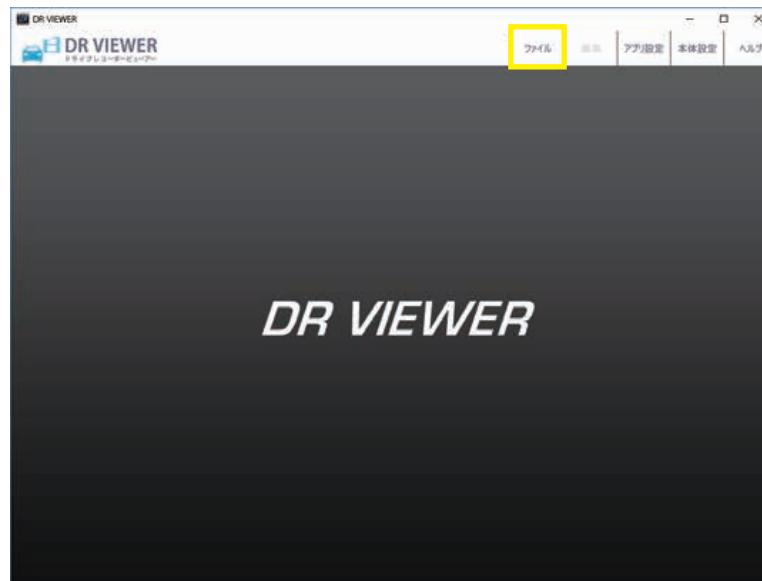
1. 一体型ドライブレコーダー本体から抜いた microSD カードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
2. ① でインストールした「DR_VIEWER」のショートカットアイコンをダブルクリックします。



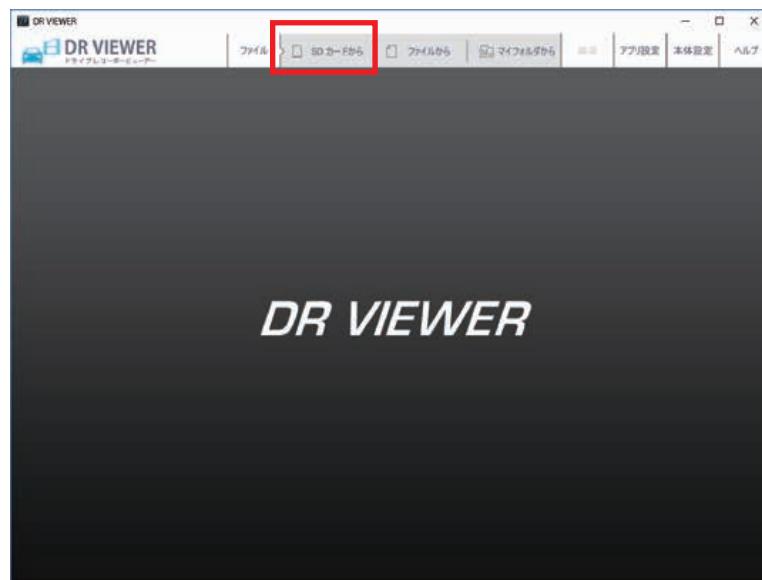
3. ビューアーソフトが起動します。



4. 次に、ビューアーソフトの「ファイル」をクリックします。

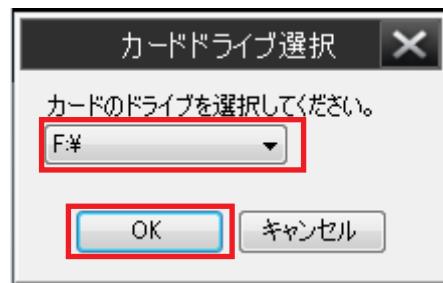


5. 映像選択方法より「SD カードから」を選択します。

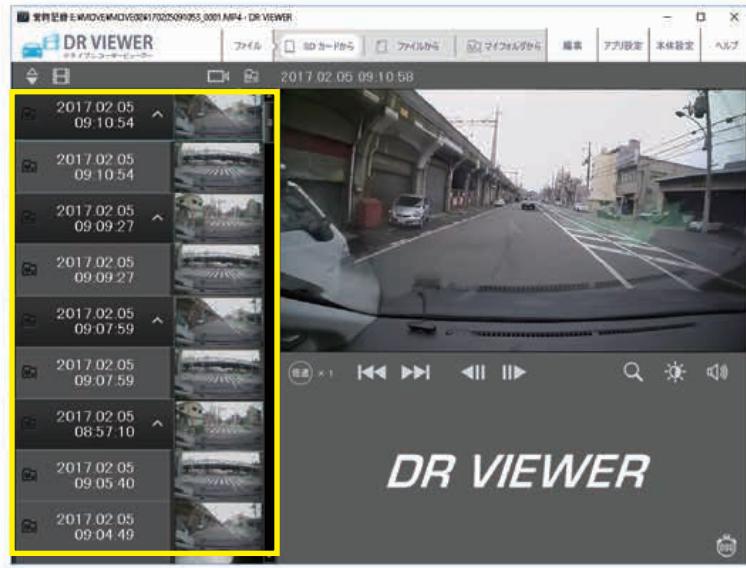


6. microSD カードを挿入したカードドライブを選択します。

7. カードドライブ選択後、「OK」をクリックします。



8. ビューアーソフト左側のリストから確認する画像を選択します。

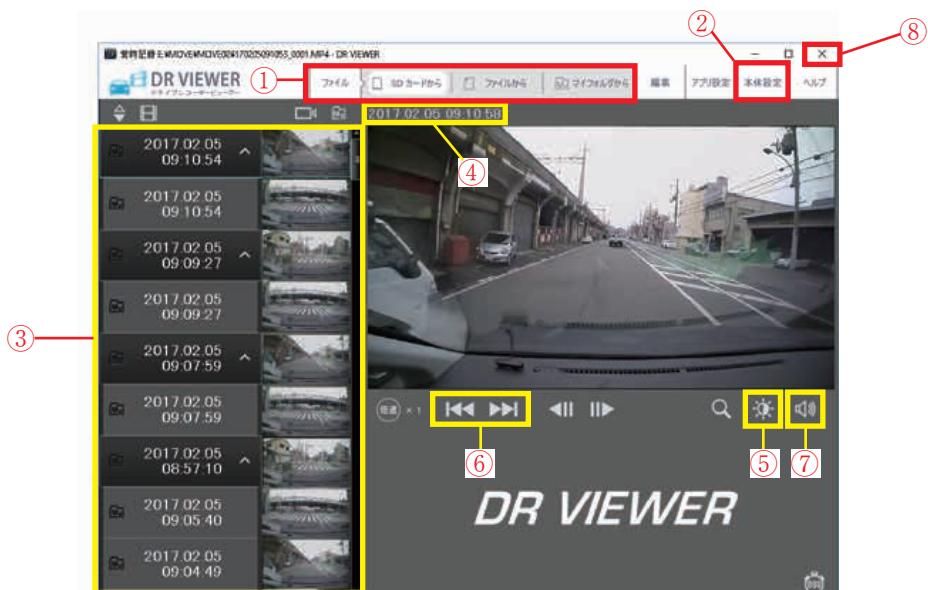


※ 1：ファイル名について

以下のファイル名で保存されます。

YY MM DD hh mm ss - nnnn .MP4
年 月 日 時 分 秒 - 連番

9. リストで選択した映像が読み込まれ、自動再生されます。



①	映像選択	再生するファイルを選択できます
②	本体設定	本体設定ができます
③	映像リスト	撮影された映像のリストを表示します
④	再生映像の日時表示	再生中の映像の日時を表示します
⑤	明るさ設定	再生映像画面の明るさを設定できます
⑥	前後映像切替	再生映像の前後のチャプタに切替できます
⑦	音量調整	再生映像の音量を調整できます
⑧	終了	ビューアーソフトを終了します

記録データチェックリスト

(ビューアーソフトの確認)

・パソコンによる確認

項目	チェック内容	確認	×の場合の処置方法
カメラ映像の確認	映像に黒セラドットやミラーベースなどが極端に映り込んでいないか。	○・×	取付要領書通りの作業を行ってください。
一体型 ドライブ レコーダー 本体の確認	音声は記録できているか。 ・周辺の音声が録音されていること	○・×	・本体側面の録音スイッチがオフになっていないか確認してください。 ・本体の不良が考えられます。デンソーテンSSにお問い合わせください。
	記録された日時にずれがないか。 ・「取付後の作動確認方法」②で記録した日時と合っていること	○・×	「日時設定」を行ってください。

10. 終了する場合は、ボタンをクリックします。

(メニューの「ファイル」 - 「終了」を選択しても同様の動作となります。)

⑤車両運搬中の画像が録画されないように、お客様に車両を引き渡す直前に同梱のmicroSDカードを挿入してください。

(microSDカードを挿入するまでは、「ピー、ピー、ピー」と作動音が鳴り続けます。

スイッチを押すといったん作動は止まりますが、電源を入れ直すと再び作動音が鳴り続けます。)

※自己診断機能

一体型ドライブレコーダーには、自己診断機能を搭載しています。

電源ONとなりドライブレコーダーを起動すると、初期化処理において一体型ドライブレコーダーの自己診断を行います。

通知方法		検出できる異常状態	対処方法
緑 LED	橙 LED		
ブザー音：ピーピーピーピー…（2秒周期） (本体スイッチを押すまで鳴り続ける)			
消灯	点灯 ↓ 消灯 ↓ 繰り返し	microSDカードが挿入されていない。	microSDカードを挿入してください。

緑 LED	橙 LED		
ブザー音：ピープーピープー… (本体スイッチを押すまで鳴り続ける)		<ul style="list-style-type: none"> ・ microSDカードのフォーマット異常の可能性がある。 ・ microSDカード異常の可能性がある。 ・ SDカードの容量に空きがない可能性がある。 ・ カメラ、映像処理系などのハード異常の可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ microSDカードをフォーマットしてください ・ 新しいmicroSDカードで再度確認してください ・ ドライブレコーダー以外の余分なデータを削除してください。それでも改善しない場合は、デンソーテンSSにお問い合わせください。

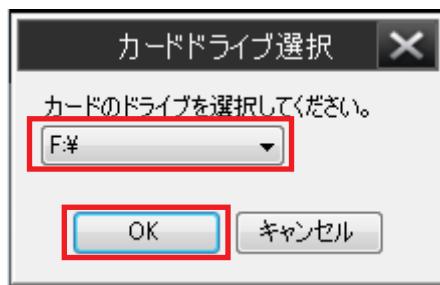
緑 LED	橙 LED		
ブザー音：無し		<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録されている日時が異常になっている。 ・ 録音異常の可能性がある。 	<p>※パソコンのビューアーソフトで「日時設定」を行ってください。 「日時設定について」を参照。</p> <p>それでも改善しない場合は、デンソーテンSSにお問い合わせください。</p>

日時設定方法について

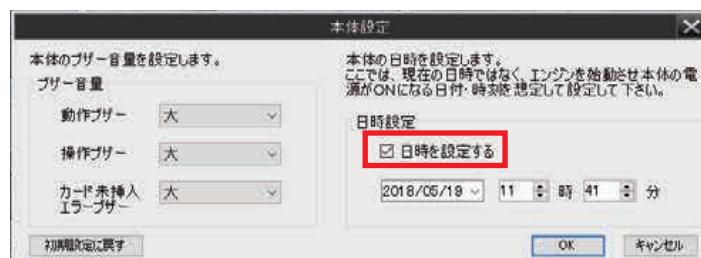
・パソコンによる設定方法

必ずパソコンを使用して日時設定を行ってください。

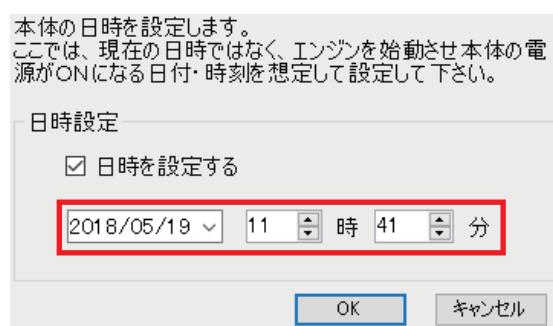
1. 一体型ドライブレコーダーから抜いたmicroSDカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
2. ビューアーソフトを起動し、メニューの「本体設定」を選択します。
3. microSDカードを挿入したカードドライブを選択します。
4. カードドライブ選択後、「OK」をクリックします。



5. 日時設定の「日時を設定する」にチェックを入れます。



6. 次回本体起動時の時刻を入力します。



7. 「OK」ボタンをクリックして設定を完了します。

